

## ■平成 19 年度 催物案内

### 所蔵品による特別展示 坂井範一展

会期：4月10日（火曜）から5月6日（日曜）まで

岐阜ゆかりの洋画家、坂井範一(1899-1981)の作品を展示します。坂井範一は新制作派協会(後の新制作協会)を中心に活躍しました。岐阜の美術界をリードした画家であり、教育者としても知られています。各年代ごとに特徴ある作品を選び、絵画の研究に取り組んだ、坂井範一の画業を紹介します。

---

### 第 61 回岐阜県美術展

一般部：6月2日（土曜）から6月10日（日曜）まで

青年部：6月14日（木曜）から6月17日（日曜）まで

少年部：6月21日（木曜）から6月24日（日曜）まで

一般部は、日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門からなる公募展。

青年部は、絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門からなる公募展。

少年部は、絵画・デザイン、書写の2部門からなる公募展。

---

### 川崎小虎と東山魁夷展

会期：7月20日（金曜）から8月26日（日曜）まで

岐阜市生まれの日本画家、川崎小虎。大正から昭和にかけて新しい日本画の開拓につとめた小虎は、傑出した風景画家、東山魁夷の岳父でもありました。本展では、近現代日本画の歴史に重要な足跡を残したこの2人の画家を中心に、川崎家の芸術的な系譜をたどります。

---

### 開館 25 周年記念展 人間国宝 荒川豊藏

会期：9月8日(土曜)から11月4日(日曜)まで

荒川豊藏は、美濃を代表する陶芸家のひとりです。志野や瀬戸黒、黄瀬戸の復興に生涯を費やし、昭和30年には第1回の重要無形文化財技術保持者（人間国宝）に認定されました。豊藏の志野や瀬戸黒を彼が模範とした古陶磁とともに展示。さらには、染付や赤絵、萩、備前、丹波、唐津や書画、収集品まで幅広く集め、豊藏芸術の多彩な全貌を明らかにします。

---

### 開館 25 周年記念 大ナポレオン展

会期：11月16日(金曜)から12月26日(水曜)まで

フランスが生んだ英雄ナポレオン・ボナパルト（1769-1821）。混沌としたフランス大革命のさなかで頭角を現し、第一帝政の皇帝にまで登りつめたナポレオンは、転換期のフランスの文化、芸術の発展にも大きな影響力をふるいました。本展は、ナポレオンの文化性に焦点を当てながら、波乱に富んだ彼の52年の生涯をたどります。

---

## ぐりとぐらとなかまたち 山脇百合子絵本原画展

会期：1月11日(金曜)から3月2日(日曜)まで

『ぐりとぐら』は、子どもたちに人気の絵本です。発行されてから40年以上たちましたが、少しも色あせることなく、世代を越えて読み継がれています。山脇百合子は、『ぐりとぐら』シリーズをはじめ、これまでに多くの絵本や挿絵を手がけてきました。宮城県美術館の絵本原画コレクションの中から、山脇百合子が描いた原画の世界を、代表作を網羅して紹介します。

---

## 特別展示 田口コレクションⅠ 現代の美術

会期：3月11日(火曜)から5月11日(日曜)まで

当館の作品収集にとって、寄贈作品は重要な意味を持っています。中でも「田口コレクション」は、西濃運輸関係の(財)田口福寿会とセイノーホールディングス社から寄贈いただいたもので、西洋の近現代彫刻と日本・西洋の現代美術を中心としています。本展では、田口コレクションの現代美術作品を一堂に展示し、その内容と魅力を紹介します。